Osaka University Knowledge Archive

Title	松くい虫の防除について
Author(s)	荻田, 健三
Citation	makoto. 1976, 14, p. 5-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86206
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

松くい虫の防除について

大阪府農林部森林育成課
主幹　荻田健三

近時生活環境汚染と自然環境の破壊が相まって国民の健康阻害をひきおこすに至っております。これを防止するためにも古くから瑞祥の木とされてきた松の木の枯死を防止する必要があります。最近大阪府下の各地で松くい虫の異常発生により、松が八月頃より集団的に赤く枯れていくのが見受けられます。

大阪府の松は、松林として森林面積の約46%を占めており、その美しい姿は昔より大阪の自然を彩り、又庭園樹としても府民に親しまれてきております。

一　松くい虫とは

一般に、松くい虫と一口にいいますが、これは一種類の虫の呼び名ではなく、マツ類の枝や幹の樹皮に穴をあけて侵入し、樹皮下を穿孔して食害し枯死にいたらしめる甲虫類を総称した名前で、大別してカミキリムシ科、ゾウムシ科、キクイムシ科の三科に属し、その各科の中には何十種類の虫がおります。

- カミキリムシ科
  - マツノマダラカミキリ
  - ムナグボサビカミキリ等
  - クロカミキリ
- ゾウムシ科
  - シラホシゾウ属
  - クロキボシゾウムシ
  - マツキボシゾウムシ
- キクイムシ科
  - マツノキクイムシ
  - マツノコキクイムシ
  - キイロコキクイ

これらの松くい虫は、老令、被圧、台風等により衰弱した松を食害し枯死させますが、現在府下一円で集団的に発生し、まん延している原因は、最近の研究の結果このうちの「マツノマダラカミキリ」という体長2cm位の甲虫が、5月頃被害木より羽化脱出し、そのさい「マツノザイセンチュウ」という0.6～1.0mm位の線虫を体につけて飛び回り、他の健全な松の新芽を食べた時にその傷口に「マツノザイセンチュウ」が附着して松の材内に侵入し、爆発的に増え松の木を弱らせ松ヤニの分泌が悪くなり遂には枯れさせるということがわかりました。

このようにして衰弱、枯死した松には「マツノマダラカミキリ」等の松くい虫が産卵し、これらの幼虫は「マツノザイセンチュウ」とともに越冬し、翌年この被害木より「マツノマダラカミキリ」は、体に「マツノザイセンチュウ」を附けて羽化脱出し、再び他の健全な松に被害を与えます。

二　防除の進め方

防除対象地区の被害の特徴に応じた防除方法を、広域に一斉に計画的に実施することが防除のきめ手となり、その方法とし、ては次のようなものがあります。

(一)　被害立木の駆除

「マツノマダラカミキリ」の幼虫やその他の松くい虫は、弱った松やその年に枯れた松の中に生活しているので、これが翌年成虫となって出てくる前、樹皮の下におる時期（適期8月中旬～10月下旬頃）に、これらの被害木を伐倒し、幹や枝葉や株に薬剤を散布して殺虫処理を行なうか、又は幹より剝いだ樹皮や、枝葉その中から出て来た虫などを集めて焼きすてる方法があります。これは松くい虫の密度を低下させ被害の拡大を防ぐために行うので地域ぐるみの一斉防除が必要です。

(二)　健全木に対する薬剤予防

各種制限林や保健休養及び風致景観保持上の重要な松林を被害から守り、健全な松林へ被害がまん延するのを防止し、被害の早期終息をはかるため、前もって薬剤を散布しておきます。

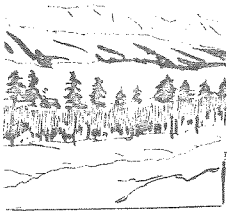
「マツノザイセンチュウ」は「マツノマダラカミキリ」によって運ばれますので、この運び屋である成虫を退治するため、健全な松の新芽や枝葉全体にむらなく松くい虫予防薬剤を散布します。その時期は、大阪府では五月下旬から六月上旬と、六月下旬から七月上旬の二回の散布が必要です。

散布の方法としては、ヘリコプターで空中から薬剤を散布する空中散布と、健全な立木の一本一本に噴霧機等で散布する地上散布の二つの方法があります。

空中散布は、広い面積に適期に「マツノマダラカミキリ」が食害する松の梢部の枝葉にまんべんなく薬剤が附着するため顕著な効果がありますが、散布による危被害防止のため散布地区に制約を受けることが多く、又地上散布については、単木処理、庭園、社寺境内の松には簡易に用いられますが、高い木になると散布が困難で足場や特殊な噴射式の散布機が必要となって来ます。

(三)　防除体制の強化

松くい虫は山の伝染病または山火事のようなものです。

所有者の方々は被害の早期発見、早期駆除に努め、自分の山を守るため一致協力し、全体としては市町村を中心とした地域一体となった防除体制の取り組みが必要です。

府においても防除の実施にともなう各種の助成、指導により防除の推進を図っておりますが、現在の被害が一日も早く終息させるため、一般府民の方々も庭園の松の木が枯れた場合、直ちに被害立木の駆除を行ない松くい虫の発生源の除去に努める等松くい虫防除についての理解と協力をお願いします。